



2026年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年3月31日

上場会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9265 URL <https://www.yhchd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員 社長 (氏名) 山下 尚登
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 吉田 弘幸 (TEL) 092-402-2922
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第3四半期の連結業績(2025年6月1日～2026年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第3四半期	46,888	△1.4	393	△44.9	486	△36.0	441	△4.3
2025年5月期第3四半期	47,552	4.8	714	△13.9	759	△12.8	461	4.3

(注) 包括利益 2026年5月期第3四半期 76百万円(△81.0%) 2025年5月期第3四半期 401百万円(△33.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第3四半期	175.71	—
2025年5月期第3四半期	186.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第3四半期	25,498	8,880	34.8
2025年5月期	27,549	8,988	32.6

(参考) 自己資本 2026年5月期第3四半期 8,880百万円 2025年5月期 8,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2026年5月期	—	0.00	—		
2026年5月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年5月期の連結業績予想(2025年6月1日～2026年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	67,647	4.9	590	△29.6	632	△30.5	354	△42.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

連結範囲の重要な変更には該当しませんが、2025年10月31日付で株式会社イーディライトの全株式を譲渡したことに伴い、第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年5月期3Q	2,553,000株	2025年5月期	2,553,000株
2026年5月期3Q	62,107株	2025年5月期	86,958株
2026年5月期3Q	2,511,076株	2025年5月期3Q	2,470,355株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年6月1日～2026年2月28日）におけるわが国の状況は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調がみられるものの、資源価格や原材料価格の高止まり、為替変動の影響等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましては、高齢化の進展や医療の高度化を背景に、需要は底堅く推移しております。一方、医療機関においては人件費や光熱費の上昇等により収益環境の厳しさが増しており、経営の効率化やコスト抑制への対応が一層求められております。特に一部の医療機関においては収支の悪化がみられるなど、設備投資や購買活動に対する慎重な姿勢が継続しております。2026年度診療報酬改定では、物価・賃金高騰への対応として本体の改定率がプラス3.09%と決定されるなど制度面での動きもある中、医療DXの推進によるICTやAIの活用を通じて、人手不足の解消や業務効率化、医療提供体制の効率化への取組みによる経営改善を検討する医療機関が増えております。

このような状況の中、当社グループでは「地域のヘルスケアに貢献する」という経営理念の下、「中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）」の2年目として、基本方針である経営基盤の強化に向けた積極的な投資とグループ機能向上による相乗効果の発揮を図るとともに、人材基盤の強化と従業員ワークエンゲージメントを向上させながら、当社グループで働く人々にとって魅力ある組織づくりを目指しております。

中核事業子会社である山下医科器械株式会社においては、将来的な事業拡大を見据え、効率化と省人化に重点を置いた物流センターの在り方を模索しており、自動倉庫や搬送ロボット、倉庫管理システムなどのマテリアルハンドリング機器を積極的に導入し、自動化による業務効率化と労働環境の改善を両立させる物流体制の構築を進めております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、中核事業である医療機器販売業において、検査・手術件数の増加により診療材料等の医療機器消耗品の需要増加がみられたものの、医療機関における設備投資需要が前年同期よりも減少したことにより、売上高は468億88百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。利益面につきましては、売上減少に伴う売上総利益の減少及び人件費等の販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は3億93百万円（前年同四半期比44.9%減）、経常利益は4億86百万円（前年同四半期比36.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億41百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント内の内部売上高を含んでおります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、一般医療機器備品や放射線診断装置及び超音波診断装置の売上により55億21百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。一般消耗品分野では、汎用消耗品及び手術関連消耗品の売上により196億45百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡手術システム等の内視鏡備品や、腹腔鏡システム等のサージカル備品、血管内治療、内視鏡関連消耗品の売上により108億49百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成、透析により構成される専門分野では、眼科関連機器や整形外科関連の売上により97億85百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、電子カルテシステム等の医療IT備品の売上により11億16百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は469億18百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益は13億27百万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	前年同期比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
一般機器分野	6,734	14.2	5,521	11.8	△1,212	△18.0
一般消耗品分野	19,226	40.4	19,645	41.8	419	2.2
低侵襲治療分野	10,810	22.7	10,849	23.1	38	0.4
専門分野	9,549	20.1	9,785	20.9	236	2.5
情報・サービス分野	1,225	2.6	1,116	2.4	△109	△8.9
小 計	47,546	100.0	46,918	100.0	△627	△1.3

② 医療機器製造・販売業

医療機器製造・販売業におきましては、グループ開発製品である整形外科用インプラントの製造・販売、および超音波を用いた医療用機器等の開発、販売を行っており、売上高は1億56百万円（前年同四半期比8.2%減）、セグメント損失は1億44百万円（前年同四半期は1億14百万円のセグメント損失）となりました。

③ 医療モール事業

医療モール事業におきましては、賃料収入により売上高は54百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益は6百万円（前年同四半期比258.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は254億98百万円となり、前連結会計年度末に比べて20億50百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて24億36百万円減少し、193億30百万円となりました。固定資産は、山下医科器械株式会社における物流センター増改築並びに倉庫管理システムの導入に伴う建設仮勘定の増加、および同社の取引先であるジェミック株式会社にて生じた貸倒債権の破産手続きが終結したことによる破産更生債権の減少等により、前連結会計年度末に比べて3億85百万円増加し、61億67百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、主に電子記録債務の減少により、前連結会計年度末に比べて19億43百万円減少し、166億17百万円となりました。また、純資産は、山下医科器械株式会社における確定給付企業年金制度の終了に伴い、退職給付に係る調整累計額が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて1億7百万円減少し、88億80百万円となり、自己資本比率は34.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の連結業績予想につきましては、2025年7月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,698	2,576
受取手形、売掛金及び契約資産	12,215	12,325
商品	3,149	3,604
その他	733	853
貸倒引当金	△29	△29
流動資産合計	21,766	19,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,086	3,133
減価償却累計額	△1,814	△1,934
建物及び構築物（純額）	1,271	1,198
土地	1,983	1,983
建設仮勘定	27	730
その他	814	894
減価償却累計額	△718	△771
その他（純額）	96	123
有形固定資産合計	3,378	4,036
無形固定資産		
のれん	293	259
その他	80	83
無形固定資産合計	374	343
投資その他の資産		
投資有価証券	1,139	968
破産更生債権等	565	11
退職給付に係る資産	313	-
その他	576	820
貸倒引当金	△565	△11
投資その他の資産合計	2,029	1,788
固定資産合計	5,782	6,167
資産合計	27,549	25,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,576	8,339
電子記録債務	7,774	6,890
未払法人税等	193	61
賞与引当金	670	232
その他	873	675
流動負債合計	18,087	16,199
固定負債		
退職給付に係る負債	58	57
繰延税金負債	45	15
その他	368	344
固定負債合計	472	417
負債合計	18,560	16,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	627	594
利益剰余金	7,206	7,462
自己株式	△231	△186
株主資本合計	8,096	8,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	637	516
退職給付に係る調整累計額	242	-
その他の包括利益累計額合計	879	516
非支配株主持分	11	-
純資産合計	8,988	8,880
負債純資産合計	27,549	25,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
売上高	47,552	46,888
売上原価	41,222	40,673
売上総利益	6,330	6,214
販売費及び一般管理費	5,615	5,821
営業利益	714	393
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	14
仕入割引	11	11
受取手数料	20	21
保険解約返戻金	-	53
その他	18	20
営業外収益合計	61	121
営業外費用		
支払利息	4	4
為替差損	-	8
手形売却損	7	8
持分法による投資損失	1	-
その他	2	7
営業外費用合計	16	28
経常利益	759	486
特別利益		
貸倒引当金戻入額	36	50
退職給付制度改定益	-	13
特別利益合計	36	64
特別損失		
段階取得に係る差損	3	-
子会社株式売却損	-	2
特別損失合計	3	2
税金等調整前四半期純利益	793	548
法人税、住民税及び事業税	169	116
法人税等調整額	165	△8
法人税等合計	334	107
四半期純利益	458	440
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	461	441

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
四半期純利益	458	440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	△121
退職給付に係る調整額	△9	△242
その他の包括利益合計	△56	△363
四半期包括利益	401	76
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404	77
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
一般機器分野	6,734	—	—	6,734	—	6,734
一般消耗品分野	19,226	—	—	19,226	—	19,226
低侵襲治療分野	10,810	—	—	10,810	—	10,810
専門分野	9,549	—	—	9,549	—	9,549
情報・サービス分野	1,225	—	—	1,225	—	1,225
その他	—	169	—	169	—	169
内部売上高	△215	—	—	△215	△0	△216
顧客との契約から生じる 収益	47,330	169	—	47,500	△0	47,499
その他の収益	—	—	53	53	—	53
外部顧客への売上高	47,329	169	53	47,552	—	47,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	47,330	169	53	47,553	△0	47,552
セグメント利益又は損失(△)	1,615	△114	1	1,502	△788	714

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△788百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△750百万円、棚卸資産の調整額△4百万円、のれん償却額△33百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年6月1日 至 2026年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
一般機器分野	5,521	—	—	5,521	—	5,521
一般消耗品分野	19,645	—	—	19,645	—	19,645
低侵襲治療分野	10,849	—	—	10,849	—	10,849
専門分野	9,785	—	—	9,785	—	9,785
情報・サービス分野	1,116	—	—	1,116	—	1,116
その他	—	156	—	156	—	156
内部売上高	△240	—	—	△240	△0	△240
顧客との契約から生じる 収益	46,677	156	—	46,833	△0	46,833
その他の収益	—	—	54	54	—	54
外部顧客への売上高	46,677	155	54	46,888	—	46,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	—	0	△0	—
計	46,677	156	54	46,888	△0	46,888
セグメント利益又は損失（△）	1,327	△144	6	1,189	△795	393

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△795百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△762百万円、棚卸資産の調整額0百万円、のれん償却額△33百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	130百万円	152百万円
のれんの償却額	33百万円	33百万円